

重点戦略	未来につなぐ環境戦略
プロジェクト	エコな暮らしの推進プロジェクト

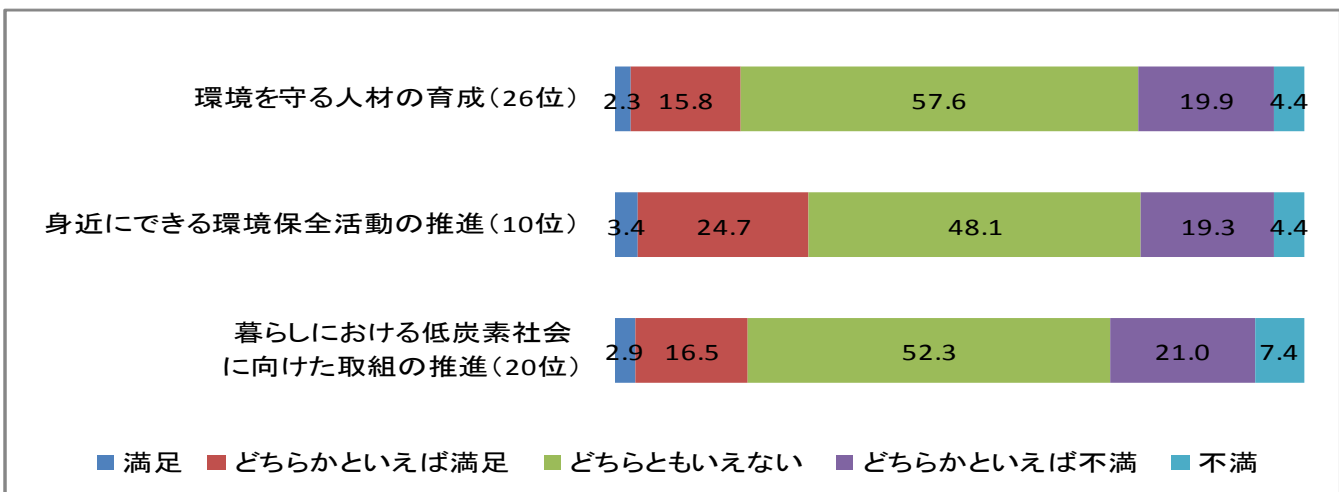
1 プロジェクトの概要

目 標	環境について自ら学び、自ら行動する機会や場を提供し、誰もが楽しみながら実践するエコな暮らしを推進します。
重点的取組	<ul style="list-style-type: none"> ☆環境を守る人材の育成 ☆身近にできる環境保全活動の推進 ☆暮らしにおける低炭素社会に向けた取組の推進

2 成果指標等の状況

成果指標	基準 (基準年)	目標 (H27)
①こどもエコクラブ会員数 ----- 出典：県環境森林部調べ (財) 日本環境協会こどもエコクラブ全国事務局資料	132人 (H21)	180人
②県民1人が1日に出すごみの量 ----- 出典：県環境森林部調べ	738g (H20)	717g
③県民1人当たりの温室効果ガス総排出量 ----- 出典：県環境森林部調べ	8.9t-CO ₂ (H20)	7.8t-CO ₂

【平成22年度県民満足度調査結果（満足度）】



3 プロジェクトの展開方針

☆環境を守る人材の育成

○環境学習の推進
①こどもエコクラブや緑の少年団など、子どもたちが環境に関する体験や学習を行う機会の提供 交流会の開催等を通じてこどもエコクラブや緑の少年団等の活動を支援するとともに、ポスター・標語コンクールや教員への研修等の実施により学校の取組を支援するなど、環境学習を積極的に推進します。
○環境保全活動を支え、輪を広げるリーダーの養成
①地球温暖化防止活動推進員などの地域等における環境活動の牽引役となる人材の育成 地球温暖化防止活動推進員など登録人材に対する研修等により地域リーダーの育成を図るとともに、それらの人材が様々な場面で活動できるよう、ホームページによる登録人材の情報発信に加え、効率的なマッチングの仕組みについて検討していきます。

☆身近にできる環境保全活動の推進

○身の回りのエコな取組、環境保全活動などへの参加促進
①省エネ実践行動やエコドライブなどの普及啓発 県民を挙げて取り組む節電、環境美化運動や緑化活動、さらにはエコドライブ等について、市町村や関係機関と連携しながら、積極的な展開を図ります。
②協働による「レジ袋削減」の推進 各種キャンペーンの実施等を通じ、県民に対し、身近なエコ活動であるレジ袋削減の取組に関する普及啓発を行うとともに、事業者、消費者団体、行政による「レジ袋削減に関する協定」について、県域単位だけでなく、市町村単位等での協議の活発化を図り、地域の実情に合った多種多様なレジ袋削減の取組を促進します。

☆暮らしにおける低炭素社会に向けた取組の推進

○家庭における再生可能エネルギー利用や省エネルギー設備の導入促進
①一般住宅への太陽光発電システムや省エネ家電等の普及促進 住宅用太陽光発電システム設置促進のための支援を行うとともに、事業者等と連携し、省エネ家電の普及促進に向けた情報提供を行います。
○電気自動車などのエコカーへの転換促進
①電気自動車の需要を喚起するための本県独自の普及に向けた取組 官民協働による協議会が中心となり、本県の特徴を捉えたモデル事業等を展開することにより、県内における電気自動車などエコカーの普及促進を図ります。
②充電インフラの整備促進 安心して電気自動車を利用することができる環境の実現に向け、急速充電設備の未設置地域を中心に設置促進のための支援を行い、充電インフラの充実を図ります。
○環境にやさしい公共交通機関の利用者拡大、自転車の利用促進
①鉄道とバスの運行ダイヤ等の連携強化やバス停の快適性向上 各地域の交通事業者や市町村等の関係者が、「地域公共交通会議」において、公共交通が抱える課題について議論を深め、連携を強化するとともに、バス停の屋根やベンチを計画的に整備することにより、利用者の快適性の向上を図ります。
②コミュニティサイクルやレンタサイクルの導入などの取組促進 公共交通と連携した自転車の活用方策の検討等を通じ、利便性の向上を図り、自転車の利用を促進します。
③通勤手段をマイカーから公共交通や自転車などへ転換する「エコ通勤」の促進 市町村や民間企業等への啓発を通じ、環境にやさしい「エコ通勤」の全県的な展開を図ります。